

平成23年度がスタート

新入生 15 名を迎え、新年度が始まりました。4月5日には、新2年生～新6年生の子どもたちも1つ学年を上げ、新たな夢と希望をもって、元気に登校してきました。

新しく3名の先生方をお迎えし、前年度からの職員、みんなで力を合わせ、平成23年度がスタートしました。どうぞよろしくお願いたします。

震災から一ヶ月が経ちましたが、子どもたちも最高学年である6年生を中心に「私たちにできることは何か?」「被災された方々が、今、一番望んでいる事は何か?」と、考え始めているところです。保護者の皆様方、地域の皆様方にもご協力いただくことがあるかと思いますが、どうかその時は、ご理解ご協力をよろしくお願いたします。

3名の新しい職員です よろしくお願いたします

<着任職員>



浦野 康彦 先生（教頭）小布施町立栗ガ丘小学校より
初めまして、浦野です。声が大きいのが自慢です。須坂市に住んでいます。一生懸命がんばります。



夏目 あずさ 先生（養護）諏訪市立豊田小学校より
お世話になります。諏訪市から赴任して参りましたが、地元は長野市です。仲良くしてください。



三浦 佳代子 先生（事務）喬木村立喬木第二小学校より
お世話になります。下伊那郡の喬木村より赴任して参りました。早く皆さんと仲良くなりたいたいです。よろしくお願いたします。

学校職員配置		2年	上野 邦彦	6年	竹内 優美	支援員	加藤 ユリ
校長	今井 定雄	3年	松川 かずみ	りんご	丸山 諭	事務	三浦 佳代子
教頭	浦野 康彦	4年	赤沼 秀三	専科	小出 恵子	庁務	北村 真人
1年	中谷 寧	5年	小田切 知子	養護	夏目 あずさ	図書館	大内 真弓

ご入学おめでとうございます



4月5日・・・青空の下、15名の元気な新入生を迎えました。ピカピカの1年生です。担任の中谷先生もランドセルを背負っての登場でした。2～6年生のお兄さん、お姉さんたちも皆さんの来るのを楽しみに待っていました。楽しい学校生活を送って下さい。

15名の1年生が入学して、全校児童数105名（男子57、女子48） 家庭数78となりました。

朝、気持ちの良い挨拶をして教室に入ってきてくれます。休み時間には友達を誘い合って、校庭や体育館で元気に遊び回っています。

学習の進め方や給食の準備など、覚えることがたくさんありますが、みんな張り切って取り組んでいます。いろんなことをすぐに吸収して、今では自分たちでどんどん進めることができるようになりました。もう、すでに長沼小の立派なりんごっこになりました。 1年担任： 中谷 寧



☆自分の命は自分で守る☆

11日（月）の第3校時に「交通安全教室」を行いました。新年度の最初にやらなければならない、とても大切な安全教室です。始めの会で、東北交番の方より「今年は、昨年と比べて交通事故による死者が増えている（10日現在で40名：昨年の同じ日と比べて18名増）。交通事故に遭わないように、道路をどのように歩いたらよいのかを、しっかりと勉強してください。」というお話がありました。学年ごとに路上コースに出発し、横断歩道の渡り方や十字路での安全確認など、安全に留意して歩行訓練ができました。まとめの会では、交通安全協会の方より、「良くできました。右・左・右の確認をこれからもしてください。」というお話があり、東北交番の方からは、「歩き方はよいが、下を向いて歩いている人が多かった。な



るべく顔を上げて、周りの様子をよく見ながら歩くように。」というご指導がありました。最後に学校長より、「年に何回もない大切な交通安全教室がしっかりとできました。小学生の場合、急な飛び出しによる事故が一番多いので、周りをしっかりと見るクセをつけるようにしましょう。教室に戻ったら、もう一度、交通安全について、担任の先生と勉強しましょう。」と、お話がありました。

一学期始業式校長講話 「心をつなぐ・磨く・寄せる」



おはようございます。

2年生から6年生の皆さん、ご進級おめでとうございます。

それぞれ学年が1つ上がり、教室が代わりましたね。また、担任の先生が代わったクラスもありますね。最初は、困ってしまうこともあるかも知れませんが、早く慣れて仲良しになってください。

次の文は、20日位前に起こった地震の被災地での卒業式の一場面での話です。

テレビでも映されたので、見た人も多くいると思いますが、代表の生徒が、涙を拭きながら、そして歯を食いしばりながら、卒業生として、これからの決意を述べた文です。

「階上（はんかみ）中学校といえば避難訓練教育と言われていました。内外から高く評価され十分な教育を受け訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の前に人間の力は余りに無力で、私達から大切なものを容赦なく奪っていきました。どうすることもできませんでした。天が与えた試練としては、あまりにもむご過ぎるものでした。

「悔しくて、辛くて、たまりません。」

しかし、苦境にあっても運命に耐え、天を憎まず、助け合って生きていくことこそこれからの私達の使命です。」

今回の大地震で、あまりにも早くに多くのものを失ってしまった子どもが沢山います。お父さんやお母さん、お友達、自分の家や学校、見慣れた故郷の風景、そして当たり前と思って考えてもみなかったことやもの、例えば1日3回の食事、夜の灯り、寝る場所と布団等々、本当に多くのものを失ってしまったのです。先程の決意を述べた生徒やその仲間には、こうしたことが一気に襲ってきた。忘れようと思っても忘れることは決してできないでしょう。もう一度会いたい、もう一度声を聞きたいと思ってもそれは叶わないのです。

ごく普通に皆さんと同じように毎日、毎日を一生懸命生きていた人々です。この人達にのしかかったものは、計り知れない程大きなものです。決して一人だけでは支えきれない。でも、ここでいつまでも悲しんでいたり、天変地異を恨んでいても、今の状況は良くなる。だからこそ、その挫けそうな心を支えて貰いながら、みんなで、「心をつなぐ」、「心をつなぎ合い」、「強い心で挫けずに」前へ立ち止まらずに進もう、そして立ち直ろうと、被災者の決意を代弁しているように校長先生には思えました。

さて、今日から新しい23年度が始まりますが、春休みに、今年度、どんな年にしたいか目標や決意を考えてみましたか。

こちらをみて下さい。学校でも、この春休み中に、先生達みんなで、今年1年間、目標とする3つの名人を考えました。去年の皆さんの名人の出来具合を考えながら、今年、皆さんに頑張ってもらいたい、続けてほしいなあーという「名人」です。

◎「おはなし名人」です。これは、心で言うと「心を伝え、それに心を寄せる」です。

去年は「聞く・見る・話す名人」でしたが、先生達が見ていると、「聞く・見るは大分よくなって、集会や授業中の態度がとてよくなっている。」「1学期に比べて3学期では、授業の時の姿がとてよくなっている。」と、先生達も感心しました。でも「話す」はもう少しかなという意見がでてきました。これは何かと言うと、当然、好きなときに好きなことをしゃべりなさい。「授業中、おしゃべりをしていいですよ」ということではありません。

皆さんをみていると、どうも「伝えることが苦手」に見えました。挨拶を含めて自分の考えや思っていることをうまく伝えたり、声かけをしあうようにしましょう。

◎二つ目は、「なかよし名人」です。これは、心で言うと「心を開き、心をつなぐ」です。

昨年も大変よくできていました。特に、縦割り活動、りんごっ子タイム、学級での班活動など、仲良く、そして、上級生が下級生の面倒をよく見て活動できていました。

長沼小学校の良い伝統となるように今年も引き続き大切にしてください。

◎三つ目は「おそうじ名人」です。これは、心で言うと「心を鍛え、磨く」です。

これも三学期の終業式で「光る廊下」の話をしたようになっていきますね。その他にも、雪かきや落ち葉掃きなども高学年を中心にとてよくやってくれました。名前は「おそうじ名人」となっていますが、日頃の当番活動やマラソン大会などを通して、一緒に心を磨いて下さい。特に、今年は、今住んでいる校舎とのお別れがあります。校舎をきれいにしてお別れできるといいですね。

今、三つの名人とその心につつまのお話をしました。校長先生から伝えたいことはもつとつと沢山ありますが、時間がきてしまうのでこれまでとしますが、担任の先生からも、この三つの名人についての話を聞いて下さいね。担任の先生、お願いします。

皆さん、是非、「みんなで、心を揃え、心をつないで寄せ合い、そして響かせ合ったり、磨き合って」、今年1年、生活していきましょう。

1学期は、7月29日までの79日間あります。

1学期の終業式で、いま先生の言った「名人」がどれくらいできたか皆さんに聞きます。今年の3つの名人をめざしてさあ、頑張りましょう。

これで、校長先生の話が終わります。

～お願い～

※ 「長野市学校安全・安心ネット」が機能しているかどうかのテストメールを18日（月）に送信します。メールが届きましたら確認ボタンを押してください。

なお、メールアドレスを変更したご家庭は、新しいアドレスを各担任へお知らせください。よろしく願いいたします。

※ 23日は土曜参観日です。お待ちしております。給食がありませんのでお子さんにお弁当を持たせてください。お願いいたします。

